

授業科目 卒業研究 I

【担当教員名】 江原 義弘、義肢装具自立支援学科教員全員	対象学年	4	対象学科	義肢
	開講時期	前期	必修選択	必修
	単位数	1	時間数	30

【カリキュラムポリシーとの関連性】				
知識・理解	思考・判断	関心・意欲	態度	技能・表現
◎	◎	◎	◎	◎

【概要・一般目標：G10】
義肢装具ならびに福祉用具にかかわる研究を行う。

【学習目標・行動目標：SBO】

1. これまでに学習した知識を生かした研究ができる。
2. 科学的評価手法を正しく実践して、評価結果を正しく解釈できる。
3. 社会に貢献できる研究が遂行できる。
4. 自主的に研究ができる。
5. 仲間と助け合って研究ができる。
6. 結果をわかりやすくプレゼンテーションできる。

回数	授業計画・学習の主題	SBO 番号	学習方法・学習課題 備考・担当教員
1	研究計画		全教員（ゼミ単位）
2	研究計画		全教員（ゼミ単位）
3	文献検索		全教員
4	文献検索		全教員（ゼミ単位）
5	文献検索		全教員（ゼミ単位）
6	実験計画		全教員（ゼミ単位）
7	第1次中間発表会		全教員
8	第1次中間発表会		全教員
9	予備実験		全教員（ゼミ単位）
10	分析		全教員（ゼミ単位）
11	分析		全教員（ゼミ単位）
12	分析		全教員（ゼミ単位）
13	中間報告書		全教員（ゼミ単位）
14	第2次中間発表会		全教員
15	第2次中間発表会		全教員

【使用図書】	<書名>	<著者名>	<発行所>	<発行年・価格 他>
教科書 (必ず購入する書籍)				
参考書				
その他の資料				

<p>【評価方法】</p> <p>中間発表を評価する。(計画が立案できる知識を身につけているか)</p> <p>中間発表を評価する。(社会に役立つ研究を進めているか。自主的に進めているか。仲間と助け合って進めているか。)</p> <p>中間発表を評価する。(科学的評価手法を正しく実践して、評価結果を正しく解釈できているか。わかりやすいプレゼンか。)</p> <p>論文の質を評価する。(社会に貢献できる論文になっているか。)</p>	<p>【履修上の留意点】</p> <p>研究テーマは3年次に決まっていることが望ましい。</p> <p>卒業研究計画の単位修得者でなければ履修することはできない。</p>
---	---